平 成 21 年 度

航　空　旅　客　動　態　調　査

－ 集 計 結 果 －

平 成 23 年 3 月

国 土 交 通 省 航 空 局

平 成 21 年 度　航 空 旅 客 動 態 調 査

－ 集 計 結 果 －

目　　次

調 査 概 要

１　調査目的 …… 1
２　調査内容 …… 2
３　調査対象 …… 5
４　調査方法 …… 5
５　調査実施日 …… 5
６　回収状況 …… 5
７　集計内容 …… 7

１．集 計 結 果（ 平 日 ）

平日　表１　　ＯＤ表（空港間純流動） …… 1－　1
平日　表２　　ＯＤ表（空港間総流動） …… 1－ 11
平日　表３　　ＯＤ表（県間流動） …… 1－ 21
平日　表４　　空港別　出発地・目的地・現住所 …… 1－ 25
平日　表５　　空港別　出発旅客数・到着旅客数・乗り換え旅客数 …… 1－157
平日　表６　　ＯＤ別　旅行目的 …… 1－159
平日　表７　　ＯＤ別　旅行日数 …… 1－165
平日　表８　　ＯＤ別　旅行行程 …… 1－173
平日　表９－１　ＯＤ別　利用航空券の種類 …… 1－181

平日　表９－２　ＯＤ別　利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）……………………… 1－187
平日　表９－３　路線別　利用航空券の種類…………………………………………………………… 1－192
平日　表９－４　路線別　利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）……………………… 1－197
平日　表10　　　ＯＤ別　乗り換え空港……………………………………………………………… 1－203
平日　表11　　　出発空港別　最終アクセス手段・到着空港別　最初イグレス手段・駐車場利用の有無… 1－221
平日　表12　　　出発空港別　アクセス所要時間・乗り換え回数…………………………………… 1－233
平日　表13　　　出発空港別　アクセス経費…………………………………………………………… 1－237
平日　表14　　　出発空港別　見送り人数・空港滞留時間…………………………………………… 1－241
平日　表15－１　空港間移動の手段…………………………………………………………………… 1－245
平日　表15－２　空港間移動の所要時間……………………………………………………………… 1－246
平日　表15－３　空港間移動の経費…………………………………………………………………… 1－247

２．集計結果（休日）

休日　表１　　　ＯＤ表（空港間純流動）……………………………………………………………… 2－　1
休日　表２　　　ＯＤ表（空港間総流動）……………………………………………………………… 2－　11
休日　表３　　　ＯＤ表（県間流動）………………………………………………………………… 2－　21
休日　表４　　　空港別　出発地・目的地・現住所…………………………………………………… 2－　25
休日　表５　　　空港別　出発旅客数・到着旅客数・乗り換え旅客数……………………………… 2－155
休日　表６　　　ＯＤ別　旅行目的……………………………………………………………………… 2－157
休日　表７　　　ＯＤ別　旅行日数……………………………………………………………………… 2－163
休日　表８　　　ＯＤ別　旅行行程……………………………………………………………………… 2－171
休日　表９－１　ＯＤ別　利用航空券の種類…………………………………………………………… 2－179
休日　表９－２　ＯＤ別　利用航空券の種類（{その他割引} の割引率の内訳）……………………… 2－185
休日　表９－３　路線別　利用航空券の種類…………………………………………………………… 2－190

休日　表９－４　路線別　利用航空券の種類（{その他割引} の割引率の内訳） ····· 2－195
休日　表10　　ＯＤ別　乗り換え空港 ····· 2－201
休日　表11　　出発空港別　最終アクセス手段・到着空港別　最初イグレス手段・駐車場利用の有無 ··· 2－219
休日　表12　　出発空港別　アクセス所要時間・乗り換え回数 ····· 2－231
休日　表13　　出発空港別　アクセス経費 ····· 2－235
休日　表14　　出発空港別　見送り人数・空港滞留時間 ····· 2－239
休日　表15－１　空港間移動の手段 ····· 2－243
休日　表15－２　空港間移動の所要時間 ····· 2－244
休日　表15－３　空港間移動の経費 ····· 2－245

３．航空旅客動態調査を用いた旅客流動分析

（１）調査実施状況の変更点 ····· 3－　1
（２）航空を取り巻く状況の変化 ····· 3－　5
（３）調査結果の動向分析 ····· 3－　8

調　査　概　要

1　調査目的

本調査は、我が国における国内航空旅客の流動パターン（出発地・出発空港・乗換空港・目的空港・目的地)、航空旅客の属性・旅行目的・個人属性、空港のアクセス・イグレスの実態、国際線との乗り継ぎ状況等の基礎的データについての調査を行うことにより、国内線航空旅客の流動特性を把握し、今後の航空行政を検討するための基礎資料を得ることを目的とする。

２　調査内容

本調査は、以下に示す質問から構成されており、それぞれの詳細は、次頁に示す調査票のとおりである。調査内容は、平日用・休日用とも同一とするが、両者を区別するため平日用は黒文字、休日用は紫文字で印刷した。

（１）　出発空港

（２）　出 発 地

（３）　アクセス実態

①　利用手段

②　所要時間

③　経　　費

④　空港滞留時間

⑤　自家用車来港者の駐車場利用の有無

（４）　利用航空券の種類・座席の種類

（５）　目 的 地

①　目 的 地

②　到着空港

③　乗り継ぎ空港・目的空港

（6）　イグレス交通手段

（７）　旅行目的等

①　旅行目的

②　旅行日数・旅程中の日数

③　旅行行程の相違

④　国際線利用の有無と国際線乗り換え空港

⑤　自家用車来港者の駐車場利用の有無

⑥　同行者数

⑦　見送り人数

（８）　個人属性

①　性　　別

②　年　　齢

③　職　　業

④　年　　収

⑤　現 住 所

⑥　同行者の属性（性別・年齢・職業・年収）

秘

※記入しないで下さい
（調査員記入欄）
便名

国土交通省

航 空 旅 客 動 態 調 査 票

おくつろぎのところ誠に恐れ入ります。
国土交通省では、飛行機を利用される皆様が、安全で、快適に旅行をしていただけるように空港の整備を行っております。本日は、今後の空港の整備、改善を適正に行っていく上で貴重な資料となる皆様のご利用状況を伺うため、調査を実施しております。
調査票の集計に際しては、すべて統計的に処理し、皆様にご迷惑をおかけすることは一切ございませんので、調査へのご協力をお願い致します。

記入にあたりましてのご注意

- 日帰り出張または日帰り旅行の方で、行きの便でご回答頂いている方でも、お手数ですがもう１度ご回答下さい。
- 乗り継ぎを行った方で、既に調査にご回答頂いた方は、お答えにならないで下さい。
- ご家族で旅行されている方は、どなたか代表者の方１名がお答え下さい。

≪空欄にご回答下さい。選択式になっている場合は該当する番号に○印をご記入下さい≫

問１．現在お乗りになっている飛行機が出発した空港をお答え下さい。

（出発空港）
空港

問２．問１で回答した空港へはどちらからいらっしゃいましたか？　本日の出発地をご記入下さい。

※日帰り出張又は日帰り旅行で、用務先又は観光地からお帰りの方は、用務先又は観光地をお答え下さい。

（出発地）

都道府県	区市郡	区町村

※地名等が分からない場合は、目印となる駅名、ホテル名、観光地名などをご記入下さい。
また、本日、海外から帰国・来日された場合は、出発地の国名をご記入下さい。

問３．問２で回答した出発地から、問１で回答した出発空港までの行程についてお答え下さい。

本日、国際線を利用された方へ
※国際線到着空港から出発空港までの行程についてお答え下さい。
※本日、問１で回答した出発空港で国際線から直接乗り継がれた方は、そのまま問４にお進み下さい。

問３－１．出発地から出発空港までの間に利用した交通機関をご記入下さい。
利用した交通機関の番号を空港に近いほうから５つ以内で下の○の中にご記入下さい。

出発地（問２の回答）あるいは国際線到着空港 → ○ → ○ → ○ → ○ → ○ → 出発空港（問１の回答）

【問３－１：選択肢】

1．新幹線	2．ＪＲ特急（新幹線を除く）	3．ＪＲ在来線（新幹線・特急除く）
4．私鉄・地下鉄	5．モノレール	6．空港直行バス・都市間バス
7．貸切バス・観光バス	8．市内バス・市内電車	9．タクシー・ハイヤー
10．自家用車、社用・公用車	11．レンタカー	12．船・ホーバークラフト
13．その他		

≪うらにつづきます≫

問３－２．出発地（あるいは国際線到着空港）から出発空港に到着するまでにかかった時間は何時間何分ですか？所要時間をお答え下さい。

1．30分以内	2．31分～1時間
3．1時間1分～1時間30分	4．1時間31分～2時間
5．2時間1分～2時間30分	6．2時間31分～3時間
7．3時間1分以上	

問３－３．出発地（あるいは国際線到着空港）から出発空港に到着するまでにかかった交通費はおいくらですか？費用をお答え下さい。

1．1,000円以下	2．1,001～2,000円
3．2,001～3,000円	4．3,001～4,000円
5．4,001～5,000円	6．5,001～10,000円
7．10,001円以上	

問３－４．出発空港に着いたのは、飛行機の出発予定時刻の何時間何分前ですか？

時間　　分前

問３－５．（出発空港まで自家用車、または社用・公用車で来られた方のみお答え下さい）
お車を現在どのようにされているかお答え下さい。

1．車は空港内の駐車場においてきた。
2．車は空港外の近くの駐車場においてきた。
3．車は同乗者が乗って帰った。

問４．現在ご利用の航空券についておたずねします。

問４－１．現在お乗りになっている飛行機の航空券について、運賃の種類をお答え下さい。

1．普通運賃　2．往復割引　3．回数券　4．マイレージ
5．団体運賃・パッケージツアー等（航空運賃はわからない）
6．その他割引運賃 ▪▪▪▪▪▪▪▪▶ 具体的な航空運賃をご記入下さい。

円

※その他割引運賃とは、特定便割引、事前購入割引、シニア/シルバー割引、スカイメイト等の割引運賃を指します。

問４－２．現在お乗りになっている飛行機でご利用の座席の種類をお答え下さい。

1．普通席　2．普通席以外の座席
（例：ファーストクラス・クラスＪ【JAL】、プレミアムクラス【ANA】）

問５．今後のご予定についてお答え下さい。

問５－１．飛行機を降りた後、空港を出てどこまで行かれますか？　本日の目的地をご記入下さい。

（目的地）

都道府県	区市郡	区町村

※地名等が分からない場合は、目印となる駅名、ホテル名、観光地名などをご記入下さい。
また、本日、海外へ出国・帰国される場合は、目的地の国名をご記入下さい。

問５－２．

現在お乗りになっている飛行機が到着予定の空港をお答え下さい。
（到着空港）
空港 →

目的地までに別の飛行機に乗り継ぐ場合は、途中でご利用になる空港を順番にご記入下さい。
① 空港 → ② 空港 → ③ 空港 → ④ 空港

（記入例）伊丹空港に着いた後、関西空港に移動して、石垣空港行きの飛行機に乗り継ぐ場合

伊丹 空港 → 関西 空港 → 石垣 空港 → 空港 → 空港

※飛行機を乗り換えるために別の空港に移動する場合については、『別の飛行機（便）に乗り継ぐ』とお考え下さい。

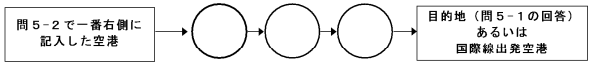
（乗り継ぎと考える場合）
◆新千歳空港 ⇔ 丘珠空港　◆羽田空港 ⇔ 成田空港
◆中部空港 ⇔ 名古屋小牧空港　◆広島空港 ⇔ 広島西空港
◆伊丹空港 ⇔ 関西空港 ⇔ 神戸空港 ⇔ 伊丹空港

調 査 票 サ ン プ ル （2）

問６．空港から、問５－１で回答した目的地までの間に利用する予定の交通機関についてご記入下さい。
乗り継ぎをされる方は問５－２で一番右側に記入した空港からの交通機関についてご記入下さい。

本日、国際線を利用されるご予定の方へ
※問５－２で一番右側に記入した空港から国際線出発空港までの行程についてお答え下さい。
※本日、現在お乗りになっている飛行機の到着空港で直接国際線に乗り継がれる方は、そのまま問７にお進み下さい。

ご利用予定の交通機関の番号を、空港に近いほうから３つ以内で下の○の中にご記入下さい。



【問6:選択肢】

1．新幹線	2．ＪＲ特急（新幹線を除く）	3．ＪＲ在来線（新幹線・特急除く）
4．私鉄・地下鉄	5．モノレール	6．空港直行バス・都市間バス
7．貸切バス・観光バス	8．市内バス・市内電車	9．タクシー・ハイヤー
10．自家用車、社用・公用車	11．レンタカー	12．船・ホーバークラフト
13．その他	14．わからない	

問７．今回のご旅行全体についてお答え下さい。

問７－１．ご旅行の主な目的をお答え下さい。　※修学旅行の方は“２．観光”とお答え下さい。

１．仕事（または、仕事の帰り）	２．観光（または、観光の帰り）	３．観光以外の私用・帰省（または、観光以外の私用・帰省の帰り）	４．その他

問７－２．ご旅行の全体の日数をお答え下さい。

１．日帰り　　２．（　　）泊（　　）日
→ 本日の行程は何日目ですか？ご記入下さい。（　　）日目

問７－３．ご旅行の帰り(または、行き)に、現在と同じ航空路線を利用されますか(されましたか)？

１．利用する(または、利用した)	２．他の航空路線を利用する(または、利用した)
３．他の交通機関を利用する(または、利用した)	４．転居・赴任等により片道の旅行
５．わからない	

問７－４．本日の行程について、国際線を利用されますか（または、利用されましたか）？

１．利用しない　　２．これから利用する（または、すでに利用した）
→ 国際線に乗る（降りた）際にご利用の空港名をお答え下さい。　（国際）空港

《うらにつづきます》

問７－５．同行者（３才以上）の人数（ご家族以外も含みます）をお答え下さい。
※同行者がいない場合は、「０人」とご記入下さい。　　人

問７－６．空港までお見送りの方（小学生以上）の人数をお答え下さい。
※お見送りの方がいない場合は、「０人」とご記入下さい。　　人

問８．あなたご自身のことについてお答え下さい。
ご家族連れの代表者の方は、表－１ に同行されているご家族の方に関することについてもご記入下さい。

性別	１．男　２．女
年齢	１．14歳以下　２．15～19歳　３．20～24歳　４．25～29歳 ５．30～34歳　６．35～39歳　７．40～44歳　８．45～49歳 ９．50～54歳　10．55～59歳　11．60～64歳　12．65～69歳 13．70～74歳　14．75歳以上
職業	１．会社役員　２．会社員　３．公務員 ４．農林・漁業　５．商工・自営業　６．自由業 ７．学生・生徒・児童　８．無職・その他
年収（税込み）	１．なし　２．100万円未満　３．100～199万円 ４．200～299万円　５．300～399万円　６．400～499万円 ７．500～699万円　８．700～999万円　９．1,000～1,499万円 10．1,500～1,999万円　11．2,000万円以上
現住所	１．出発地と同じ　２．目的地と同じ　３．どちらでもない

→「３．どちらでもない」とお答えの方は、現住所をご記入下さい。

都道府県	区市郡	区町村	

現住所が海外の方はお住まいの国名をご記入下さい。

年収（税込み）の設問については、航空ご利用者全体の平均的な年収を把握するためにお聞きしております。これより航空ご利用者全体の時間に対する価値観（時間価値）を計算し、航空行政の参考とさせて頂きます。

表－１　ご家族連れの代表者の方は、下の記入表にご家族の方の性別・年齢・職業・年収を表中の **番号** でご記入下さい。

	性別 1．男 2．女	年齢 1．14歳以下　2．15～19歳 3．20～24歳　4．25～29歳 5．30～34歳　6．35～39歳 7．40～44歳　8．45～49歳 9．50～54歳　10．55～59歳 11．60～64歳　12．65～69歳 13．70～74歳　14．75歳以上	職業 1．会社役員　2．会社員 3．公務員　4．農林・漁業 5．商工・自営業　6．自由業 7．学生・生徒・児童 8．無職・その他	年収 1．なし　2．100万円未満 3．100～199万円　4．200～299万円 5．300～399万円　6．400～499万円 7．500～699万円　8．700～999万円 9．1,000～1,499万円　10．1,500～1,999万円 11．2,000万円以上
同行者1				
同行者2				
同行者3				
同行者4				
同行者5				

ご協力ありがとうございました。

のちほど客室乗務員が調査票を受け取りに参りますのでお渡し下さい。

３　調査対象

本調査の対象は、調査実施日に国内航空路線を利用する全航空旅客とする。

４　調査方法

国内航空会社（２３社）の協力を得て、原則として客室乗務員が航空機内で調査票の配布・回収を行っているが、フライト時間が短い路線の場合、搭乗口で配布し機内で回収を行う方法や、あらかじめ座席にセットし機内で回収する方法をとっている。

また、客室乗務員が乗務しない路線や、航空機内での実施が困難な路線では、搭乗手続き時に係員が調査票を配布し、搭乗時に回収を行う方法等をとっている。

５　調査実施日

本調査は、平成２１年１０月１８日（日曜日）【休日調査】、同２１日（水曜日）【平日調査】に実施した。

なお、天候不良等で調査を実施できなかった便については、原則翌日または翌週の同曜日に調査を実施している。（場合によって調査実施日が異なる場合がある。）

また、休日調査については、休日の旅客流動の特性を踏まえるため、調査を実施できない場合、翌週の日曜日に原則実施している。

６　回収状況

調査実施日における航空会社別の旅客実績及び回収調査票数等は、次表に示すとおりである。

航 空 会 社 別 回 収 結 果

航空会社＼項目	平日調査					休日調査				
	提供座席数(A)（席／日）	旅客数（B）（人／日）	搭乗率（B/A）（%）	回収数（C）（票）	回収率（C/B）（%）	提供座席数(A)（席／日）	旅客数（B）（人／日）	搭乗率（B/A）（%）	回収数（C）（票）	回収率（C/B）（%）
日本航空グループ（JAL・JTA・JAC・RAC・J-AIR・HAC・JEX）	178,587	112,588	63.0%	71,790	**63.8%**	175,969	121,270	68.9%	84,580	**69.7%**
全日本空輸グループ（ANA・ANK・CRF・AKX・NXA）	173,840	112,275	64.6%	63,368	**56.4%**	173,132	120,881	69.8%	76,386	**63.2%**
新中央航空株式会社	340	217	63.8%	175	**80.6%**	301	161	53.5%	132	**82.0%**
オリエンタルエアブリッジ株式会社	936	491	52.5%	339	**69.0%**	1,014	435	42.9%	308	**70.8%**
東邦航空株式会社	90	58	64.4%	49	**84.5%**	63	41	65.1%	31	**75.6%**
スカイマーク株式会社	10,620	7,878	74.2%	3,679	**46.7%**	10,620	8,755	82.4%	4,125	**47.1%**
北海道国際航空株式会社	9,033	5,658	62.6%	4,274	**75.5%**	9,028	6,910	76.5%	5,800	**83.9%**
IBEX エアラインズ株式会社	1,480	1,026	69.3%	767	**74.8%**	1,480	1,088	73.5%	869	**79.9%**
天草エアライン株式会社	390	183	46.9%	75	**41.0%**	390	196	50.3%	122	**62.2%**
スカイネットアジア航空株式会社	6,300	3,690	58.6%	2,412	**65.4%**	6,300	4,518	71.7%	3,199	**70.8%**
株式会社スターフライヤー	4,320	2,816	65.2%	2,096	**74.4%**	4,320	3,159	73.1%	2,420	**76.6%**
株式会社フジドリームエアラインズ	608	250	41.1%	247	**98.8%**	608	303	49.8%	291	**96.0%**
第一航空株式会社	108	55	50.9%	46	**83.6%**	72	27	37.5%	23	**85.2%**
合　　計	386,652	247,185	63.9%	149,317	**60.4%**	383,297	267,744	69.9%	178,286	**66.6%**

7　集計内容

本調査においては、次章の「１．集計結果（平日）」及び「２．集計結果（休日）」の表１～表１５に示す各集計を行った。

各表の内容については、以下にまとめるとおりである。

なお、問８の回答に基づき、旅客の個人属性についての単純集計結果をまとめると、以下に示すとおりとなる。

単純集計結果（１）

アイテム	カテゴリ	平日調査		休日調査	
		サンプル数	構成比	サンプル数	構成比
性別	男　性	70,149	62.6%	73,205	52.1%
	女　性	41,907	37.4%	67,223	47.9%
	（不　明）	37,261	－	37,858	－
	合　計	149,317	100.0%	178,286	100.0%
職業	会社役員	16,758	11.8%	16,527	9.8%
	会社員	64,550	45.6%	67,598	40.0%
	公務員	8,967	6.3%	10,569	6.3%
	農業・漁業	1,403	1.0%	1,388	0.8%
	商工・自営業	5,876	4.2%	9,282	5.5%
	自由業	4,464	3.2%	6,311	3.7%
	学生・生徒	6,751	4.8%	12,067	7.1%
	無職・その他	32,757	23.1%	45,328	26.8%
	（不　明）	7,791	－	9,216	－
	合　計	149,317	100.0%	178,286	100.0%

単純集計結果（２）

アイテム	カテゴリ	平日調査		休日調査	
		サンプル数	構成比	サンプル数	構成比
年齢	14 歳以下	2,378	1.7%	5,734	3.4%
	15～19 歳	3,690	2.6%	5,799	3.4%
	20～24 歳	5,305	3.7%	7,539	4.4%
	25～29 歳	9,471	6.7%	14,774	8.7%
	30～34 歳	12,112	8.5%	16,709	9.8%
	35～39 歳	14,013	9.9%	17,606	10.3%
	40～44 歳	14,662	10.3%	15,198	8.9%
	45～49 歳	14,691	10.3%	14,455	8.5%
	50～54 歳	15,208	10.7%	16,193	9.5%
	55～59 歳	16,878	11.9%	17,331	10.2%
	60～64 歳	15,160	10.7%	17,137	10.1%
	65～69 歳	9,524	6.7%	11,024	6.5%
	70～74 歳	5,398	3.8%	6,277	3.7%
	75 歳以上	3,750	2.6%	4,462	2.6%
	（不　明）	7,077	－	8,048	－
	合　計	149,317	100.0%	178,286	100.0%
年収（税込み）	なし	17,411	13.0%	28,331	17.9%
	100 万円未満	6,657	5.0%	9,636	6.1%
	100～199 万円未満	7,114	5.3%	10,444	6.6%
	200～299 万円未満	10,900	8.1%	15,915	10.0%
	300～399 万円未満	12,253	9.2%	18,131	11.4%
	400～499 万円未満	11,237	8.4%	14,354	9.1%
	500～699 万円未満	19,566	14.6%	20,721	13.1%
	700～999 万円未満	23,286	17.4%	19,299	12.2%
	1000～1499 万円未満	16,726	12.5%	13,223	8.3%
	1500～1999 万円未満	4,188	3.1%	3,817	2.4%
	2000 万円以上	4,425	3.3%	4,586	2.9%
	（不　明）	15,554	－	19,829	－
	合　計	149,317	100.0%	178,286	100.0%

単純集計結果（３）

アイテム	カテゴリ	平日調査		休日調査	
		サンプル数	構成比	サンプル数	構成比
現住所	北海道	14,390	10.9%	16,869	10.6%
	青森県	952	0.7%	1,461	0.9%
	岩手県	417	0.3%	547	0.3%
	宮城県	1,647	1.2%	1,915	1.2%
	秋田県	898	0.7%	963	0.6%
	山形県	537	0.4%	791	0.5%
	福島県	521	0.4%	704	0.4%
	茨城県	1,674	1.3%	2,668	1.7%
	栃木県	861	0.7%	1,277	0.8%
	群馬県	567	0.4%	768	0.5%
	埼玉県	5,387	4.1%	6,434	4.1%
	千葉県	6,854	5.2%	8,116	5.1%
	東京都	19,620	14.8%	23,868	15.0%
	神奈川県	10,965	8.3%	13,133	8.3%
	新潟県	1,043	0.8%	1,189	0.7%
	富山県	647	0.5%	809	0.5%
	石川県	1,208	0.9%	1,432	0.9%
	福井県	318	0.2%	388	0.2%
	山梨県	327	0.2%	519	0.3%
	長野県	695	0.5%	819	0.5%
	岐阜県	869	0.7%	1,117	0.7%
	静岡県	1,448	1.1%	2,085	1.3%
	愛知県	4,124	3.1%	6,146	3.9%
	三重県	824	0.6%	971	0.6%
	滋賀県	610	0.5%	692	0.4%

単純集計結果（４）

アイテム	カテゴリ	平日調査		休日調査	
		サンプル数	構成比	サンプル数	構成比
現住所	京都府	1,413	1.1%	1,627	1.0%
	大阪府	8,991	6.8%	9,138	5.8%
	兵庫県	5,139	3.9%	5,401	3.4%
	奈良県	1,110	0.8%	1,021	0.6%
	和歌山県	680	0.5%	970	0.6%
	鳥取県	569	0.4%	631	0.4%
	島根県	967	0.7%	1,058	0.7%
	岡山県	1,114	0.8%	1,191	0.8%
	広島県	1,611	1.2%	2,109	1.3%
	山口県	1,169	0.9%	1,238	0.8%
	徳島県	779	0.6%	918	0.6%
	香川県	1,007	0.8%	1,176	0.7%
	愛媛県	1,692	1.3%	2,475	1.6%
	高知県	771	0.6%	1,418	0.9%
	福岡県	9,380	7.1%	10,257	6.5%
	佐賀県	1,009	0.8%	1,151	0.7%
	長崎県	2,199	1.7%	2,841	1.8%
	熊本県	2,362	1.8%	3,025	1.9%
	大分県	1,532	1.2%	1,704	1.1%
	宮崎県	1,967	1.5%	2,500	1.6%
	鹿児島県	3,431	2.6%	3,892	2.5%
	沖縄県	5,539	4.2%	6,620	4.2%
	海外	600	0.5%	597	0.4%
	(不明)	16,883	－	19,647	－
	合計	149,317	100.0%	178,286	100.0%

表１　ＯＤ表（空港間純流動）　［問１・問５－２］

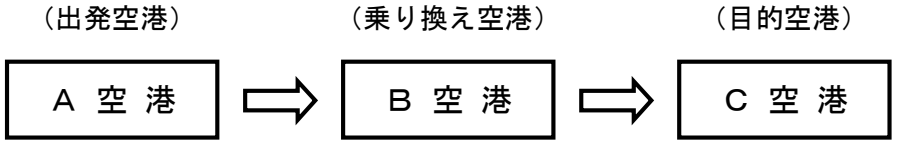
表１は、各旅客の調査実施日における最初の出発空港と最後の到着空港（目的空港）間における流動について集計したものであり、純流動ベースの空港間ＯＤ表である。

純流動とは、出発地から目的地までの移動について、乗り換えの有無や経由地にかかわらず１トリップとして集計する流動である。

以下の例に示すとおり、Ａ空港を出発し、最終的にＣ空港に至った旅客は、その途中における乗り換えの有無にかかわらず、［Ａ空港］→［Ｃ空港］のトリップを行った旅客として集計される。

したがって、純流動ベースのＯＤ表においては、路線（直行便）が開設・運航されていない空港間における流動も集計される。

例　（乗り換えを１回行った場合）



目的空港 ＼ 出発空港	Ａ	Ｂ	Ｃ
Ａ	0	0	1
Ｂ	0	0	0
Ｃ	0	0	0

表２　ＯＤ表（空港間総流動）　［問１・問５－２］

表２は、各路線における流動を集計したものであり、総流動ベースのＯＤ表である。

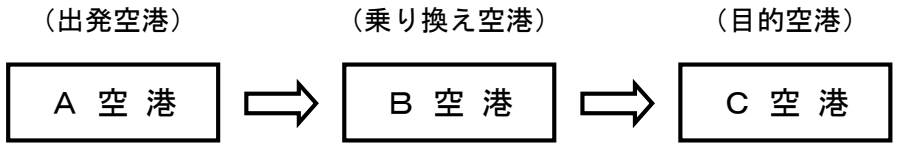
総流動とは、出発地から目的地までの移動について、乗り換えの有無や経由地の状況を考慮し、区間毎の流動を１トリップとして集計する流動である。

以下の例に示すとおり、Ａ空港を出発し、Ｂ空港で乗り換えを行い、最終的にＣ空港に至った旅客は、［Ａ空港］→［Ｂ空港］として１トリップ、［Ｂ空港］→［Ｃ空港］として１トリップの計２トリップが集計される。

したがって、総流動ベースのＯＤ表では、原則として路線（直行便）が開設・運航されている空港間のみの流動量が集計される。

ただし、羽田⇔成田、伊丹⇔関西⇔神戸⇔伊丹、新千歳⇔丘珠、中部⇔小牧、広島⇔広島西　の区間については、地上交通機関を利用して当該区間を乗り継いだ旅客数を集計しており、表２の中では内数として括弧書きで示している。

例　　（乗り換えを１回行った場合）



目的空港 ＼ 出発空港	Ａ	Ｂ	Ｃ
Ａ	0	1	0
Ｂ	0	0	1
Ｃ	0	0	0

表３　ＯＤ表（県間流動）　［問２・問５－１］

表３は、出発地（出発空港側）・目的地（到着空港側）の観点から、都道府県間における流動を集計したものであり、純流動ベースのＯＤ表である。

すなわち、ここでは、旅客がどの都道府県（出発地）からどの都道府県（目的地）への移動に際して航空を利用したのかについて集計したものであり、したがって、出発地あるいは目的地となる都道府県は、出発空港あるいは目的空港が立地する都道府県とは、必ずしも一致しないことになる。

なお、出発地あるいは目的地については、国際線との乗り換えを行う場合は外国として集計され、無回答の場合は不明として集計される。

表４　空港別 出発地・目的地・現住所　［問１・問２・問５－１・問５－２・問８］

表４は、各空港における出発旅客の出発地、到着旅客の目的地、及びこれらの合計と、出発旅客及び到着旅客の現住所について集計したものである。

なお、ここでの、出発旅客、到着旅客とは、乗り換え旅客を含んでおらず、純流動ベースのＯＤ集計結果（表１）から得られる各空港の発着旅客数に一致する。また、表４に示す市区町村は、平成 21 年 10 月 18 日時点の全国地方公共団体コード（総務省）に準じており、各空港の所在都道府県を最初に表示し、以降は全国地方公共団体コード順に示している。

例）**羽田空港**　平日　表４　空港別 出発地・目的地・現住所　（単位：人）

	地区名	出発旅客数(出発地)	%	到着旅客数(到着地)	%	合計(乗降旅客数)	%	乗降客の現住所	%
東京都	千代田区	1,529	3.6	2,003	4.3	3,532	4.0	359	0.4
	中央区	1,241	2.9	1,364	2.9	2,605	2.9	522	0.6
	港区	2,034	4.8	2,448	5.3	4,482	5.1	865	1.0
	新宿区	1,023	2.4	1,211	2.6	2,234	2.5	613	0.7
	文京区	388	0.9	390	0.8	778	0.9	372	0.4

○出発旅客数（出発地）	・羽田空港の出発便に搭乗した旅客（羽田空港で乗り換えた旅客を除く）の出発地について、市区町村別に集計したものである。ここで出発地とは、調査当日の対象トリップにおいて羽田空港に向けて移動し始めた地点である。 ・上記の例では、千代田区を出発地としてから羽田空港の出発便に搭乗した旅客が 1,529 人であったことを示している。 ※羽田空港を出発した旅客の到着地については、到着空港の表４における“到着旅客数（到着地）”に集計される。
○到着旅客数（到着地）	・羽田空港の到着便に搭乗していた旅客（羽田空港で乗り換える旅客を除く）の到着地について、市区町村別に集計したものである。ここで到着地とは、対象トリップの目的地を意味している。 ・上記の例では、羽田空港で降機した後、千代田区を目的地として向かった旅客が 2,003 人であったことを示している。 ※羽田空港に到着した旅客の出発地については、出発空港の表４における“出発旅客数（出発地）”に集計される。
○合計（乗降旅客数）	・出発旅客数（出発地）と到着旅客数（到着地）の合計値
○乗降客の現住所	・羽田空港を利用した旅客（羽田空港で乗り換えた旅客を除く）の現住所について、市区町村別に集計したものである。 ・上記の例では、羽田空港利用者のうち、千代田区に現住所がある旅客が 359 人であったことを示している。

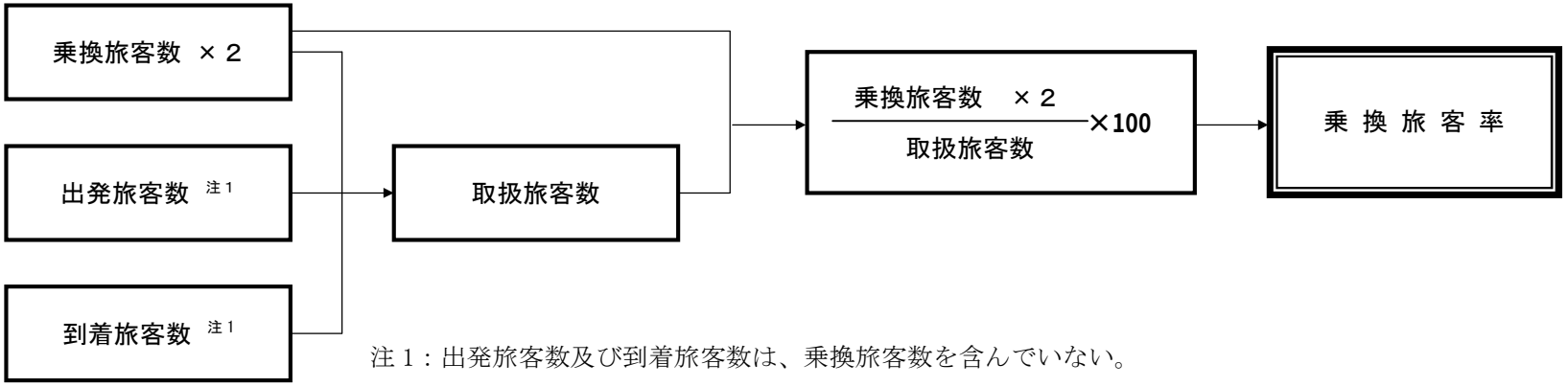
表５　空港別 出発旅客数・到着旅客数・乗換旅客数　［問１・問５－２］

表５は、各空港における純流動ベースでの出発旅客数と到着旅客数、及び当該空港で飛行機の乗り換えを行った旅客（乗換旅客数）について集計したものである。また、これらの数値を用いて、以下に示す方法で、乗換旅客がそれぞれの空港における取扱旅客数（出発旅客・到着旅客・乗換旅客の合計）に対し、どの程度の割合を占めているか（乗換旅客率）を算出している。

なお、乗換旅客数については、空港取扱い旅客の観点からみた場合、乗り換えのために空港に到着した時点で到着旅客として１人、その後、他の路線（便）で出発した時点で出発旅客として１人の延べ２人の旅客としてカウントする必要がある。このことから、ここでの計算過程においては、乗換旅客数を２倍することによって、取扱旅客数を計算している。

※表５の乗換旅客数の列には２倍する前の乗換旅客数（実人数）が入力されている。

（乗換旅客率の算出方法）



注１：出発旅客数及び到着旅客数は、乗換旅客数を含んでいない。

例）平日　表５　空港別　出発旅客数・到着旅客数・乗換旅客数（単位：人）

空港名	出発旅客数	到着旅客数	合　計	乗換旅客数		取扱旅客数	乗換旅客率　%
米　子	507	441	948	0		948	0.0
隠　岐	89	46	135	0		135	0.0
出　雲	921	827	1,748	12	注２	1,772	1.4
石　見	68	70	138	0		138	0.0
岡　山	971	1,049	2,020	1		2,022	0.1

注２：出雲空港において飛行機を乗り継いだ旅客数が 12 人であったことを示している。

出雲空港の取扱旅客数＝出発旅客数（921 人）＋到着旅客数（827 人）＋乗換旅客数（12 人）×２＝1,772 人

<< 表６ ～ 表 10 の集計対象 >>

表６～表 10 は純流動ベースの空港間ＯＤの集計表である。集計対象は、路線（直行便）が開設・運航されている空港間（平日：231 組、休日：230 組）と、開設・運航されている路線（直行便）はないながらも、純流動ベースによる空港間ＯＤ表（表１）において往復合計で 20 以上のサンプル（回収票）があった空港間（平日：68 組、休日：70 組）であり、平日調査で 299 組、休日調査で 300 組のＯＤペアが集計対象となる。

集計は純流動ベースであるため、路線（直行便）が開設・運航されている空港間ＯＤの集計においては、乗り換え経路の旅客が含まれている。例えば、福岡～新千歳路線の集計には直行便利用者の他、福岡～羽田～新千歳のように羽田空港等で乗り換えを行った旅客が含まれている。

また、路線（直行便）が開設・運航されている空港間ＯＤについては『航空輸送統計年報』の掲載順に集計結果を示しており、路線（直行便）が開設されていないＯＤについては、以下のように優先順位を設定し集計結果を示している。

■路線（直行便）が開設されていない路線の表示に係る考え方（優先順位）

①羽田　②成田　③伊丹　④関西　⑤新千歳　⑥中部　⑦福岡　⑧那覇　⑦その他　　＊相手空港は空港コード順とする。

※直行便以外で集計対象とした 20 以上のサンプルがあったＯＤペアは、次のとおりである。

直行便以外で集計対象とした 20 以上のサンプル（回収票）があったODペア

平日調査

羽田・成田		伊丹・関西		新千歳・中部・福岡・那覇		その他	
羽　田－隠　岐	(39)	伊　丹－釧　路	(63)	新千歳－米　子	(89)	旭　川－熊　本	(21)
羽　田－福　江	(43)	伊　丹－函　館	(52)	新千歳－出　雲	(27)	帯　広－広　島	(65)
羽　田－対　馬	(44)	伊　丹－旭　川	(53)	新千歳－岡　山	(63)	女満別－小　松	(38)
羽　田－種子島	(28)	伊　丹－帯　広	(45)	新千歳－山口宇部	(75)	青　森－小　松	(21)
羽　田－屋久島	(127)	伊　丹－女満別	(32)	新千歳－徳　島	(49)	青　森－山口宇部	(46)
羽　田－沖永良部	(26)	伊　丹－種子島	(23)	新千歳－高　松	(35)	青　森－長　崎	(54)
羽　田－徳之島	(36)	伊　丹－徳之島	(22)	新千歳－松　山	(58)	青　森－熊　本	(21)
羽　田－久米島	(53)	伊　丹－宮　古	(20)	新千歳－高　知	(24)	青　森－宮　崎	(26)
成　田－山口宇部	(35)	伊　丹－石　垣	(39)	新千歳－長　崎	(70)	三　沢－出　雲	(22)
成　田－高　松	(22)	関　西－女満別	(20)	新千歳－熊　本	(93)	仙　台－松　山	(39)
成　田－松　山	(28)			新千歳－大　分	(27)	仙　台－宮　崎	(40)
成　田－高　知	(24)			新千歳－宮　崎	(56)	仙　台－鹿児島	(21)
成　田－宮　崎	(27)			新千歳－鹿児島	(71)	仙　台－石　垣	(24)
成　田－鹿児島	(23)			新千歳－那　覇	(279)	秋　田－広　島	(57)
				新千歳－石　垣	(21)	秋　田－高　知	(24)
				福　岡－函　館	(27)	秋　田－宮　崎	(29)
				福　岡－青　森	(43)	新　潟－松　山	(34)
				福　岡－秋　田	(25)	富　山－長　崎	(22)
				福　岡－奄　美	(35)	小　松－石　垣	(21)
				福　岡－宮　古	(24)	宮　崎－石　垣	(36)
				那　覇－釧　路	(45)		
				那　覇－函　館	(20)		
				那　覇－帯　広	(30)		
				那　覇－秋　田	(27)		

※（　）内の数値は、サンプル数を示す。

休日調査

羽田・成田		伊丹・関西		新千歳・中部・福岡・那覇		その他	
羽　田－但　馬	(27)	伊　丹－釧　路	(30)	新千歳－米　子	(31)	釧　路－岡　山	(23)
羽　田－福　江	(24)	伊　丹－函　館	(63)	新千歳－岡　山	(101)	函　館－富　山	(39)
羽　田－種子島	(73)	伊　丹－旭　川	(85)	新千歳－山口宇部	(46)	青　森－出　雲	(27)
羽　田－屋久島	(182)	伊　丹－帯　広	(36)	新千歳－徳　島	(64)	青　森－広　島	(24)
羽　田－沖永良部	(29)	伊　丹－中標津	(23)	新千歳－高　松	(65)	青　森－高　松	(30)
羽　田－与　論	(45)	伊　丹－女満別	(47)	新千歳－松　山	(119)	青　森－松　山	(25)
羽　田－徳之島	(36)	伊　丹－庄　内	(24)	新千歳－高　知	(137)	仙　台－出　雲	(21)
羽　田－久米島	(73)	伊　丹－福　江	(24)	新千歳－長　崎	(94)	仙　台－松　山	(35)
羽　田－与那国	(21)	伊　丹－宮　古	(71)	新千歳－熊　本	(96)	仙　台－高　知	(28)
成　田－秋　田	(27)	伊　丹－石　垣	(58)	新千歳－大　分	(56)	仙　台－鹿児島	(68)
成　田－富　山	(29)			新千歳－宮　崎	(70)	秋　田－広　島	(23)
成　田－松　山	(28)			新千歳－鹿児島	(98)	山　形－宮　崎	(21)
成　田－宮　崎	(28)			新千歳－那　覇	(436)	庄　内－徳　島	(42)
成　田－鹿児島	(31)			新千歳－石　垣	(21)	新　潟－松　山	(25)
				中　部－福　江	(24)	新　潟－鹿児島	(37)
				中　部－屋久島	(24)		
				中　部－久米島	(22)		
				福　岡－函　館	(39)		
				福　岡－女満別	(20)		
				福　岡－青　森	(20)		
				福　岡－三　沢	(25)		
				福　岡－秋　田	(62)		
				福　岡－庄　内	(20)		
				福　岡－奄　美	(30)		
				福　岡－宮　古	(67)		
				那　覇－函　館	(28)		
				那　覇－青　森	(24)		
				那　覇－三　沢	(22)		
				那　覇－花　巻	(34)		
				那　覇－秋　田	(29)		
				那　覇－富　山	(64)		

※（　）内の数値は、サンプル数を示す。

表６　ＯＤ別 旅行目的　［問１・問５－２・問７－１］

表６は、純流動ベースによる空港間ＯＤペア別にみた旅客の旅行目的を集計したものである。

表７　ＯＤ別 旅行日数　［問１・問５－２・問７－２］

表７は、純流動ベースによる空港間ＯＤペア別にみた旅行日数を集計したものであり、日帰り以外の旅客については調査を受けた日が旅行中の何日目であるかについても集計した。

調査を受けた日（日帰り以外の旅客）の合計欄の人数は、旅行日数の合計欄の人数から日帰りの人数を除いた値と一致する。

例）平日　表７　ＯＤ別　旅行日数（単位：人）

ＯＤ名	旅行日数												調査を受けた日（宿泊を伴う旅客）											
	日帰り	%	1泊2日	%	2泊3日	%	3泊4日	%	4泊5日以上	%	不明	合計	1日目	%	2日目	%	3日目	%	4日目	%	5日目以上	%	不明	合計
羽　田－新千歳	1,086	8.0	3,891	28.6	4,221	31.0	2,506	18.4	1,892	13.9	663	14,259	4,760	51.4	1,403	15.2	1,644	17.8	798	8.6	649	7.0	3,919	13,173
羽　田－伊　丹	2,075	29.8	2,595	37.3	1,502	21.6	366	5.3	422	6.1	276	7,236	2,063	53.9	968	25.3	539	14.1	93	2.4	161	4.2	1,337	5,161
羽　田－関　西	485	25.1	593	30.7	439	22.7	135	7.0	279	14.4	110	2,041	591	52.2	220	19.4	184	16.2	27	2.4	111	9.8	423	1,556
羽　田－福　岡	1,731	15.1	3,898	34.1	3,069	26.8	1,214	10.6	1,523	13.3	738	12,173	4,071	55.2	1,416	19.2	1,044	14.2	317	4.3	524	7.1	3,070	10,442
羽　田－那　覇	185	2.7	682	10.0	2,145	31.5	2,684	39.5	1,105	16.2	637	7,438	2,642	54.4	269	5.5	779	16.0	845	17.4	324	6.7	2,394	7,253

表８　ＯＤ別 旅行行程　［問１・問５－２・問７－３］

表８は、純流動ベースによる空港間ＯＤペア別にみた復路（調査時点が復路の場合は往路）の利用交通機関の状況について集計したものである。

表９－１　ＯＤ別　利用航空券の種類　［問１・問４－１・問４－２・問５－２］

表９－２　ＯＤ別　利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）

表９－１は、利用航空券の種類および座席の種類について、純流動ベースによる空港間ＯＤペア別に集計したものであるが、利用航空券の種類に関する設問は、調査を受けた路線のみの設問であるため、飛行機の乗り継ぎを伴う旅客は最初の区間の利用航空券の種類を集計している。

利用航空券の種類は、調査票の選択肢に従い、“普通運賃”、“往復割引”、“回数券”、“マイレージ”、“団体運賃・パッケージツアー等”、“その他割引運賃”の６区分で集計している。その他割引運賃については、具体的な航空運賃の回答結果に基づき、平成 21 年 10 月の普通運賃に対する割引率を算出した上で、以下の集計表９－２の例に示すとおり７段階の幅で集計した。なお、普通運賃が複数存在する路線に関して、割引率の計算に用いる普通運賃は大手航空会社（ＪＡＬまたはＡＮＡ）の普通運賃としている。また、普通運賃が複数存在する路線は＊で示している。

なお、具体的な航空運賃が未記入（割引率不明）であるサンプルが多くなっているが、表９－２において“その他割引（不明）”として集計している。

例）平日　表９－２　ＯＤ別　利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）（単位：人）

ＯＤ名		平成21年10月 普通運賃	その他割引（0～10%）	%	その他割引（11～20%）	%	その他割引（21～30%）	%	その他割引（31%～40%）	%	その他割引（41%～50%）	%	その他割引（51%～60%）	%	その他割引（61%～）	%	その他割引（不明）	その他割引 合計
羽　田－新千歳	＊	33,500	101	3.7	153	5.6	143	5.2	61	2.2	379	13.8	587	21.3	1,326	48.2	1,268	4,018
羽　田－伊　丹		22,500	112	6.4	20	1.1	65	3.7	834	47.4	513	29.2	197	11.2	17	1.0	818	2,576
羽　田－関　西	＊	22,500	26	5.2	－	－	9	1.8	212	42.6	197	39.6	52	10.4	2	0.4	188	686
羽　田－福　岡	＊	36,700	66	2.6	102	4.0	210	8.1	193	7.5	96	3.7	1,007	39.0	908	35.2	1,658	4,240
羽　田－那　覇	＊	40,800	32	5.1	42	6.7	24	3.8	39	6.2	73	11.7	76	12.2	339	54.2	515	1,140

表９－３　路線別　利用航空券の種類　［問１・問４－１・問４－２・問５－２］

表９－４　路線別　利用航空券の種類（「その他割引」の割引率の内訳）

表９－３・表９－４は、表９－１・表９－２について路線別に集計したものである。したがって、利用航空券の種類に関する設問は、調査を受けた路線のみの設問であるため、飛行機の乗り継ぎを伴う旅客についても最初の区間のみを集計対象としている。

また、集計対象となる路線は直行便が開設・運航されている空港間のみとなり、表９－１・表９－２の全ＯＤペアと表９－３・表９－４の全路線の合計件数は一致している。

表 10　ＯＤ別 乗り換え空港　［問１・問５－２］

表 10 は、純流動ベースによる空港間ＯＤペアについて、直行便の利用者と他空港で乗り換えを行った旅客に分けて、その内訳を集計したものであり、特に、乗り換えを行った旅客が利用した空港（乗り換え空港）については、上位３空港を抽出し、それぞれにおける乗り換え旅客数を集計した。

羽田⇔成田、伊丹⇔関西⇔神戸⇔伊丹、新千歳⇔丘珠、中部⇔小牧、広島⇔広島西　の区間は、乗り換え経路として対象としている。

表 11　出発空港別　最終アクセス手段・到着空港別　最初イグレス手段・駐車場利用の有無　［問１・問３－１・問３－５・問５－２・問６］

表 11 は、各出発空港において出発旅客が空港到着時に利用した交通手段（最終アクセス手段）と、各到着空港において到着旅客が目的空港到着後に利用する予定の交通手段（最初イグレス手段）について集計したものである。また最終アクセス手段が“自家用車”の旅客については、駐車場利用の有無について“空港内（空港内の駐車場を利用した)”、“近辺（空港外の近くの駐車場を利用した)”、“無し（同乗者が乗って帰ったため、駐車場の利用無し)”の３区分で集計を行った。

表 12　出発空港別 アクセス所要時間・乗り換え回数　［問１・問３－１・問３－２］

表 12 は、各空港における出発旅客が出発地から空港に至るまでに要した所要時間の合計（アクセス所要時間）と、空港アクセスに際して行った交通機関の乗り換え回数について集計したものである。

表 13　出発空港別 アクセス経費　［問１・問３－３］

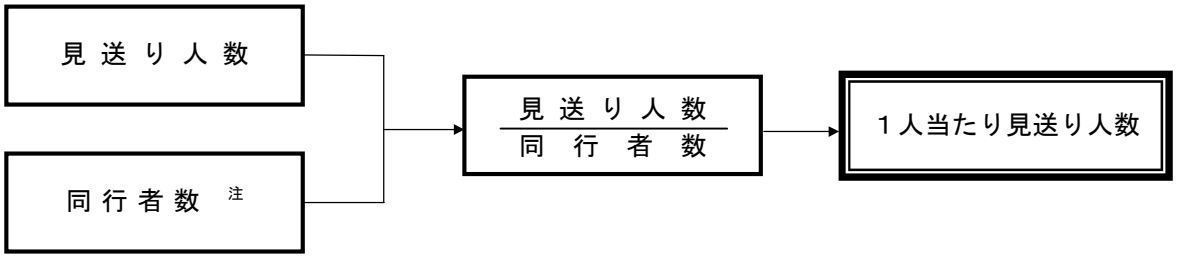
表 13 は、各空港における出発旅客が出発地から空港に至るまでに要した費用の合計（アクセス経費）について集計したものである。

※アクセス経費の集計には自家用車利用者も含まれている。

表 14　出発空港別 見送り人数・空港滞留時間　［問１・問３－４・問７－５・問７－６］

表 14 は、各空港における出発旅客１人当たりの見送り人数と、出発旅客が出発空港に到着してから搭乗した航空機が出発するまでターミナルビル内にいた時間（空港滞留時間）について集計したものである。旅客１人当たり見送り人数の算出方法は、以下に示すとおりである。また、空港滞留時間とは、旅客が航空機の出発時刻の何分前に空港に到着したかを示している。

（１人当たり見送り人数の算出方法）



注：同行者数には本人を含む。

表 15－１　空港間移動の手段　　［問１・問２・問３－１・問５－１・問５－２・問６］

表 15－２　空港間移動の所要時間　［問１・問２・問３－２・問５－１・問５－２］

表 15－３　空港間移動の経費　　［問１・問２・問３－３・問５－１・問５－２］

表 15 は、成田空港、関西空港、中部空港より国際線を利用した（利用する）旅客（出発地あるいは目的地が“海外”の旅客）について、羽田⇔成田、伊丹⇔関西⇔神戸⇔伊丹、中部⇔小牧　の空港間の移動に関する「最終アクセス・最初イグレス手段」、各空港間における「所要時間」・「経費」について集計したものである。

表 15－１の集計項目において集計対象としている行程及びその交通手段のカラムは以下の通りである。また表 15－２、表 15－３において集計している「所要時間」・「経費」に関する設問は、空港アクセスに関する設問であるため、下表の印（●、○、■、□）のついた行程のみが集計対象となる。

表15－１			表15－２・表15－３	
集計項目	行程 ➔ 集計対象　⇒ 調査区間（国内線）	空港間移動の手段の集計対象カラム	集計項目	空港間移動の所要時間・費用の集計対象
① 海外→成田→羽田→国内各地　羽田最終アクセス	海外→成田→（地上交通機関）➔ 羽田　⇒　国内各地	アクセス（５）	羽　田－成　田	●
② 国内各地→羽田→成田→海外　羽田最初イグレス	国内各地　⇒　羽田 ➔（地上交通機関）→成田→海外	イグレス（１）		
③ 国内各地→羽田→成田→海外　成田最終アクセス	国内各地　⇒　羽田→（地上交通機関）➔ 成田→海外	最後イグレス		
④ 海外→成田→羽田→国内各地　成田最初イグレス	海外→成田 ➔（地上交通機関）→羽田　⇒　国内各地	最初アクセス	羽　田－成　田	●
⑤ 海外→関西→伊丹→国内各地　伊丹最終アクセス	海外→関西→（地上交通機関）➔ 伊丹　⇒　国内各地	アクセス（５）	伊　丹－関　西	○
⑥ 国内各地→伊丹→関西→海外　伊丹最初イグレス	国内各地　⇒　伊丹 ➔（地上交通機関）→関西→海外	イグレス（１）		
⑦ 国内各地→伊丹→関西→海外　関西最終アクセス	国内各地　⇒　伊丹→（地上交通機関）➔ 関西→海外	最後イグレス		
⑧ 海外→関西→伊丹→国内各地　関西最初イグレス	海外→関西 ➔（地上交通機関）→伊丹　⇒　国内各地	最初アクセス	伊　丹－関　西	○
⑨ 海外→関西→神戸→国内各地　神戸最終アクセス	海外→関西→（地上交通機関）➔ 神戸　⇒　国内各地	アクセス（５）	神　戸－関　西	■
⑩ 国内各地→神戸→関西→海外　神戸最初イグレス	国内各地　⇒　神戸 ➔（地上交通機関）→関西→海外	イグレス（１）		
⑪ 国内各地→神戸→関西→海外　関西最終アクセス	国内各地　⇒　神戸→（地上交通機関）➔ 関西→海外	最後イグレス		
⑫ 海外→関西→神戸→国内各地　関西最初イグレス	海外→関西 ➔（地上交通機関）→神戸　⇒　国内各地	最初アクセス	神　戸－関　西	■
⑬ 海外→中部→小牧→国内各地　小牧最終アクセス	海外→中部→（地上交通機関）➔ 小牧　⇒　国内各地	アクセス（５）	小　牧－中　部	□
⑭ 国内各地→小牧→中部→海外　小牧最初イグレス	国内各地　⇒　小牧 ➔（地上交通機関）→中部→海外	イグレス（１）		
⑮ 国内各地→小牧→中部→海外　中部最終アクセス	国内各地　⇒　小牧→（地上交通機関）➔ 中部→海外	最後イグレス		
⑯ 海外→中部→小牧→国内各地　中部最初イグレス	海外→中部 ➔（地上交通機関）→小牧　⇒　国内各地	最初アクセス	小　牧－中　部	□

※①と④、⑤と⑧、⑨と⑫、⑬と⑯は同じ行程であり、これらの行程を対象とし表 15-2、表 15－3 において空港間移動の所要時間・費用の集計を行っている。